

使っている花 ■ アジサイ(マーセ
ペイン)、スプレーバラ(リトルシ
ルバー)

6月
June

WEEKEND
FLOWER

アジサイ

花言葉 元気な女性 / 家族の結びつき

部屋の中でも楽しみたいおしゃれアジサイ
アンニュイなブルーも梅雨時ならではの

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 房状の花を優しく手で広げながら通気性をよくし、花がムレて傷まないようにしましょう。傷んで黒くなっている部分があれば取り除きます。
- 茎はできるだけ斜めにカットし、中の白い綿をナイフやハサミの先端で掻き出すように取り除くと、水揚げがぐっとよくなります。
- アジサイは小さな花(といっても実際は額です)をたくさん咲かせるために栄養が必要です。切り花栄養剤をぜひ使用しましょう!

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① バスケットの中に器をセットして水を張り、切り花栄養剤を適量加えます。
- ② アジサイは短めにカットし、水に浸かる部分の葉を取り除きます。茎は斜めにカットし、茎の中の白い綿を掻き出すように取り除きます(このひと手間がポイント!)
- ③ バスケットにふわっと載せるようにいけます。お好みで、スプレーバラなど花びらの質感や花一輪のサイズが似た花を組み合わせたり、バスケットにリボンをあしらったりするなどデコレーションしてもよいでしょう。

優しい雨に輝く瑠璃色

梅雨に溶け合いしっとり咲く紫陽花は、古くは万葉集にも歌われ、日本人に長く愛される花。シックなアンティークカラーの輸入品も多く出回りますが、季咲きのアジサイは雨に移ろう優しい色彩やみずみずしさが魅力です。幕末、オランダ人医師シーボルトが最愛の「お滝さん」の名をとって「オタクサ」と紹介したというエピソードも。

